

# 常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 4月 23日(土)

通算 221号

## ◇ いつもと違う月曜日

給食が終わると、担当する清掃場所に向かう児童の姿が見られるのがいつもの風景。けれども今週の月曜日は違った。

清掃開始を告げる穏やかな音楽も、この日は流れていない。音楽の代わりに聞こえてくるのは、浣漑さが表出された児童らの明るい声だ。

児童が足早に向かう先は一様に体育館。嬉しそうな表情で一目散に駆けてゆく。児童の笑顔とともに、本校の新たな取組「ロング放課」が始まった。

本校は給食後に 15 分間の清掃を行い、20 分の昼放課をはさんで 5 時間目に移る日課を組んでいる。さらに、毎週火曜日は全校で外庭清掃（草むしり・石拾い・落ち葉拾い）を行ってきた。けれども、外庭清掃は活動場所への移動に時間がかかり、清掃を行うのは実質数分間ほど。全校体制で行っている割には、あまりに効率が悪い。この外庭掃除方法の見直しを図るなかで生み出された時間を、【毎週月曜日・35 分の昼放課】として子供たちに還元したのが「ロング放課」だ。

迎えた「ロング放課」初日は、朝から雨模様。フロントガラスに当たる雨粒を見ながら、『教室で過ごす 35 分間は、さすがに持て余すかな…』などと思いながらの出勤。足取り重く、登校する児童を出迎えると、大柳通学団班がやってきた。

班長の T 之助さんは、自分の顔を見るなり『せっかくのロング放課なのに、雨ですね…』と寂しそうに一言。この一言が、その後の流れを変えることになる。

教頭先生に一連の話をすると、流石のアイデアマン教頭、満点回答をくれる。『本校は昼放課に体育館を開放する文化はないんですが、雨の日の「ロング放課」は体育館を使わせてあげるというのもいいかもしれませんね』そのとおりだ。

すぐに体育館の使用方法について樹神体育主任を交えて協議。

- ①中綱で体育館を二つに分け、上学年と下学年でエリアを分ける。
- ②教員が付いて児童の安全確保に努める。
- ③マスクを着用させたまま活動させる。
- ④体育館の使用前後に確実に手指消毒させる。

以上 4 点の確実な実施で「雨の日ロング放課の体育館使用」解禁となった。



微笑ましい。これが何よりである。※このあと、上学年、下学年とも「ドッジボール」が始まった。

週の始まりは雨の月曜日。それでもこの日の学校は、いつもの雨の日にはない活気があった。

「ロング放課」は毎週月曜日。これからもずっと続く。

登校への足取りが重くなりがちな月曜日だが、休日をひかえる金曜日と同じくらい、児童にとって「待ち遠しい曜日」になるかもしれない。